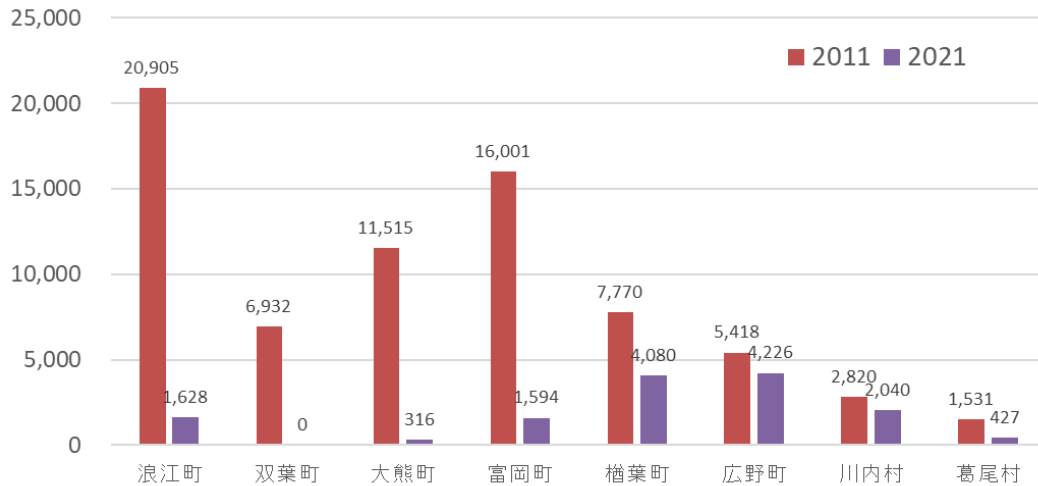
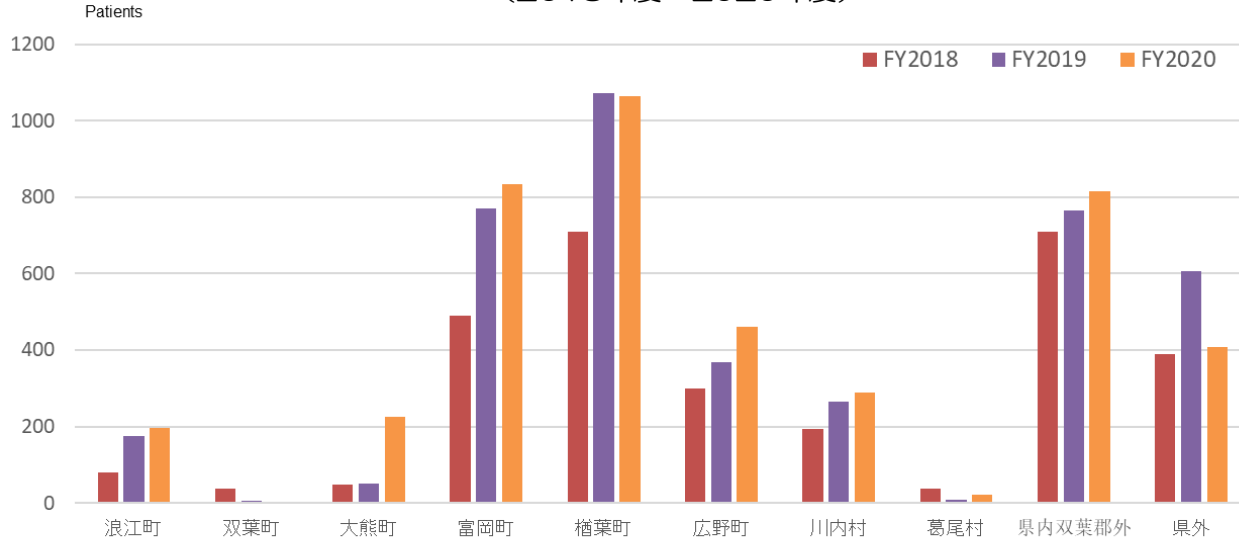


ふたば医療センター附属病院居住地別受診者数の年度推移 (2018年度-2020年度)

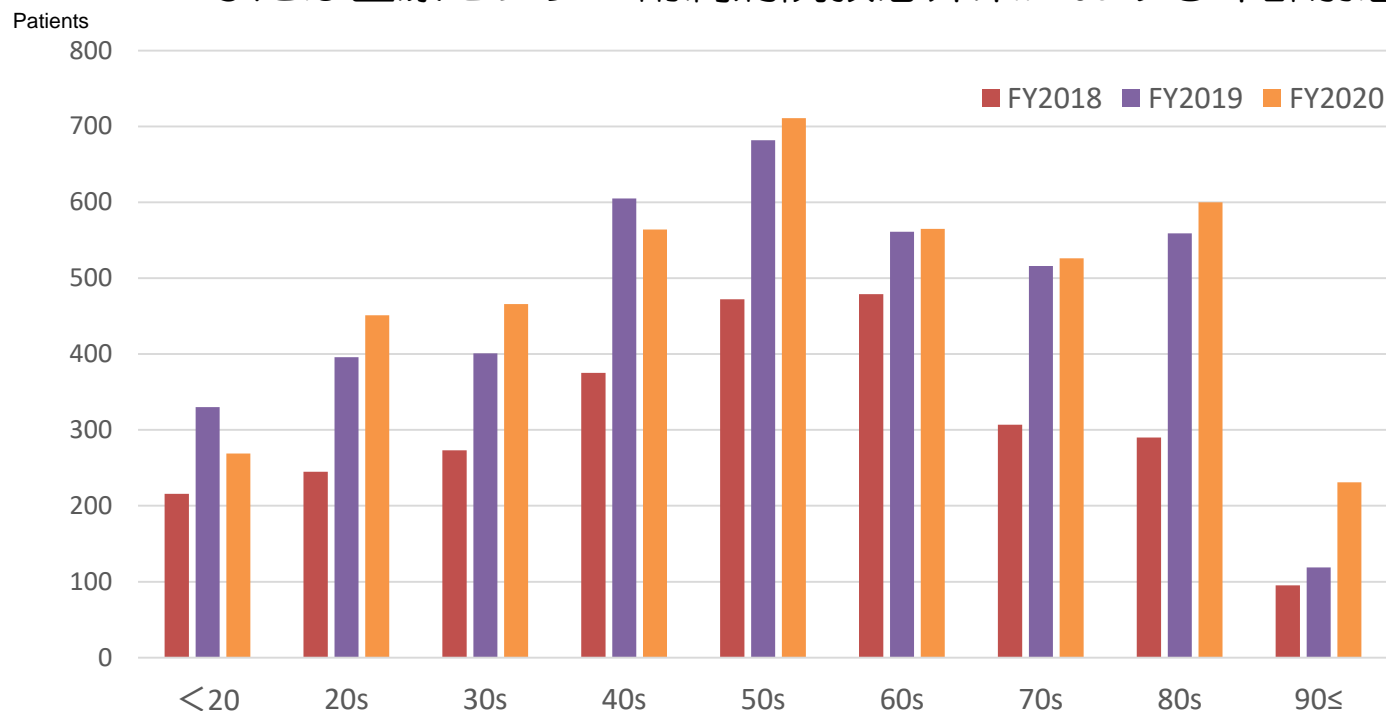


- 郡外患者が3割を占める
 - ※ 県内郡外患者は増加傾向にあるが、県外患者は減少
- 郡内患者数は人口と地理により影響
 - ※ 各町村からの患者数は増加しているが、増加率は鈍化傾向
 - ※ 人口の多く、地理的に近い楢葉町が最多だが、頭打ち
 - ※ 人口は少ないが富岡町の患者が多い
 - ※ 大熊町の患者増は著しい

双葉郡の人口変化

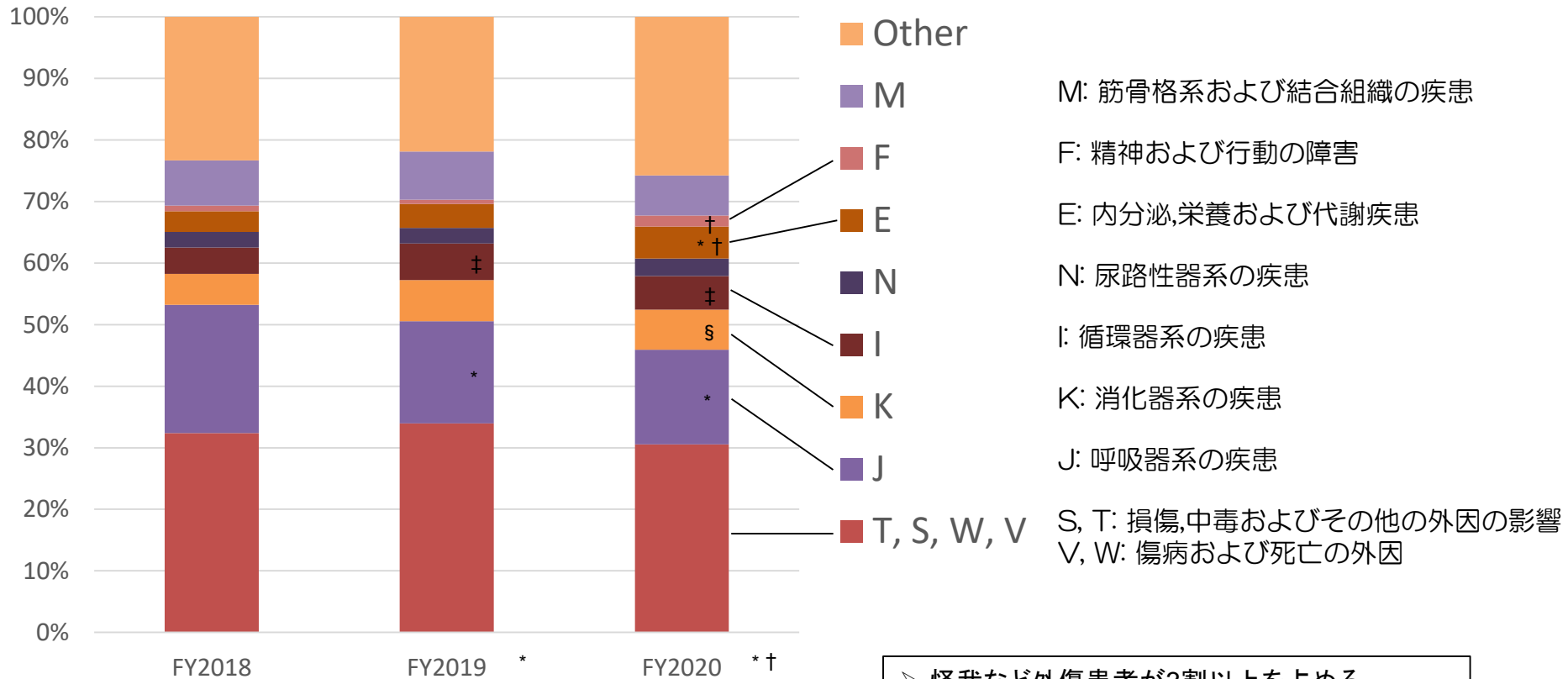
2011年（福島第一原発事故以前）及び2021年（事故10年後）

ふたば医療センター附属病院救急外来における年齢別患者数の推移



- 2018年度は50歳代の患者が最多
※復興関連作業員や交通事故負傷者を反映
- 2019年度より70-80歳代が急増。
※高齢住民の帰還者数の増加を反映
- 2020年度は50歳代と80歳代の二つのピークとなる。90歳代が急増
※住民の更なる高齢化を反映

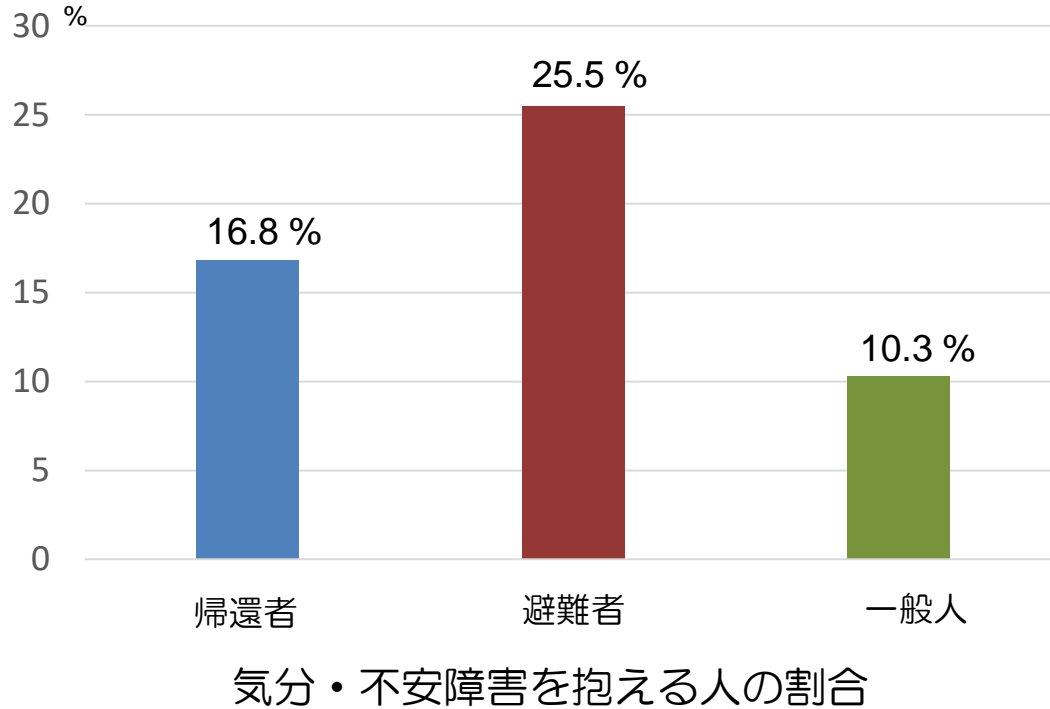
ふたば医療センター附属病院外来患者のICD分類別患者割合の年次推移



* p<0.001 vs. 2018; † p<0.001 vs. 2019; ‡ p=0.005, §p=0.002 vs. 2018

- 怪我など外傷患者が3割以上を占める
 - ※ 復興事業に関する労働災害、交通事故が多い
- 呼吸器疾患は2020年までは減少傾向
 - ※ 新型コロナへの対応を反映(受診控え、感染対策など)
- 消化器系、循環器系疾患、内分泌系疾患(特に糖尿病)は増加
- 患者数は少ないが、精神科疾患は有意に増加

帰還住民と避難者における精神ストレスの比較



- ▶ 避難住民は一般日本人の2.5倍の割合で精神ストレスを抱えている
- ▶ 帰還住民は避難住民より精神ストレスを抱える割合が低い。しかし、一般日本人と比較すると1.6倍の割合で精神ストレスを抱えている